

ゆりかご 放課後等デイサービス



保護者

アンケート調査結果 2024

公開日 令和7年1月16日

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ★ご意見 |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|-------|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 25 | 2 | 1 | 0 | 【1】子どもたちの人数が多い時、先生が少なかったりすると大変そうに見えます。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 14 | 9 | 0 | 5 | <ゆりかごコメント> 20名の利用者を持性や能力別に3つの訓練室に分けて支援を行っています。「ユーザーにはありがたい。末端職員は地獄車。」という書き込みがホームページにあります。管理者から見ても過酷な現場です。それでも「全ては子どもたちの笑顔と自立のために」と願い職員は踏ん張っています。今後に向けて、より安全な支援の環境設定と、ゆりかごならではの支援プログラムの明確化に向けて全職員で検討し協議しているところです。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 25 | 2 | 1 | 0 | |
| 適切な 支援の 提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか | 25 | 2 | 0 | 1 | |
| | ⑤ | 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか | 17 | 7 | 0 | 3 | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | 1 | 10 | 16 | |
| 保護者 への 説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 26 | 2 | 0 | 0 | 【2】子どものその日の様子を迎えの際に伝えてくださり、わかりやすいです。 |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 24 | 4 | 0 | 0 | <ゆりかごコメント> 夕方のお迎えをご家族にお願いしていますが、日々の「共有」レベルを高めるために有効だと考え開設当時から大切にきてきています。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 26 | 2 | 0 | 0 | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 0 | 13 | 13 | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 23 | 2 | 1 | 2 | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 25 | 3 | 0 | 0 | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 24 | 1 | 0 | 3 | |

| | | | | | | | |
|---------|---|---|-----|----|----|----|--|
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 25 | 1 | 0 | 2 | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 17 | 4 | 1 | 6 | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 16 | 2 | 1 | 9 | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 23 | 4 | 0 | 1 | <p><ゆりかごコメント> 通所を楽しみにしている子の割合が8割を超えている点は、一生懸命さを評価していただけていると受け止めます。 ゆりかごならではの支援プログラムの明確化に一層取り組んでいきます。</p> |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 24 | 4 | 0 | 0 | |
| | | 合計 | 362 | 52 | 28 | 61 | 503 |

自由記述の意見

「改めて考えると、ありがたいことだなあ。」とか「あれっ？どうなってるのかなあ。」

そんなちょっとした気付きや違和感をぜひ声に出して教えてください。

【3】 家まで送っていただけると助かるなあとは以前は思っていました。でも迎えに行くたびに、他の子(中学生のお兄ちゃんや小学生)たちと楽しく遊んでいる姿を実際に見ると安心できる点、子ども同士のやり取り見ていると成長を感じる場面がたくさんあります。今はお迎えに行くのが楽しみになっています。いつもありがとうございます。

<ゆりかごコメント>

ご自宅への送迎を行っている事業所もありますが、当事業所は朝9時から就学前のお子さんを対象に支援を行い、引き続き18時まで小学生以上を対象に療育を展開しているため、職員が自宅までの送迎を行う余裕がありません。

子どもたちの支援・子育てには確かな「共有」こそが大切であると考えており、帰りの際の情報共有を大切にして取り組んでいます。その点を受け止めていただけており、ありがとうございます。

【4】 いつもお世話になっております。学校が振休で朝から預かっていたときに、友愛プールに連れて行ってもらったことがわが子はすごくうれしかったようです。また、可能であれば冬場でも友愛プールに連れて行ってやってください。よろしく願います。

<ゆりかごコメント>

「友愛プールプログラム」は、今年度初めて実施しました。

利用者のメンバーと人数によりますが朝からの利用時に「おやつ購入プログラム」を何度か行いました。職員間では多様なプログラムについての提案が出されますが、20名定員での運用を行っており職員配置が十分に行えないという課題が生じ、なかなか行えていません。

【5】 その日の気になることを伝えてくださったり、様子の違いも話して下さり、困ったときには話を聞いてくださったりアドバイスをしてくださるのでありがたいです。

<ゆりかごコメント>

その都度でいねいに共有を図っていくことこそがお子さんの自立には欠かせないと考え、帰りのお迎え時の連絡は大切に考えて対応しています。「鉄は熱いうちに打て」と言われますが、お子さんがやる気になるのには、タイミングも大切です。

【6】 問題があれば解決策を考え、実行していただき、ありがとうございました。親の問題にも気にかけていただき、声をかけていただきありがとうございました。

<ゆりかごコメント>

子どもは初めての人生を生きています。しかし、親御さんもまた初めての子育てに向き合ってみています。うまくいかないことの方が多いはずです。別の言い方をすれば、問題のない子もいなければ、問題のない家庭もないのが普通だということです。

頼ればよいと言われてもだれにどのように頼ってよいのかがよくわからない時代にもなっています。様々な機関で子育て支援を行っていく方向は出されています。当事業所としても親御さんの応援を行えるならば行っていきたいと考えております。

【7】 成長してきて放デイにどうして行くのか…という話をするときもありますが、母としては放デイで過ごしてくれてとても安心して働けます。子ども自身の心や身体の成長を考えながら、私は子どもの力を信じていけるようにならないと…とは思いますが、もうしばらく支えていただけるとありがたいです。いつも細かにご対応くださりありがとうございます。

<ゆりかごコメント>

今年度の報酬改定の中で、「預かりニーズへの対応」が加えられました。ひとり親家庭に限らずほとんどの親御さんが働くという時代背景があるからです。子どもとすれば帰宅後に親にいてほしいという思いを持つのでしょうか、子どもも家族の一員として理解し合い協力し合うことが求められます。発達段階を踏まえた上でのタイミングがあると思いますが、療育を必要としない段階になることは喜ばしいことだとも言えます。そのためには、ていねいな話し合いと合意形成がとても大切になります。じっくり話し合っていてください。当事業所としても応援できることはさせていただきます。

【8】 1日の中でもテンションが変わり、また接し方が難しい子ですが、その時その時の子どもに寄り添ってくださっていて、とても感謝しています。小さい子や大きい子と接することができたり、家ではできない経験もたくさんさせていただいておりありがたいです。

その日の様子を教えてくださいるので、帰宅後の対応もスムーズです。いつもありがとうございます。

<ゆりかごコメント>

家庭とは違った環境や人間関係の中で、人と関わる体験を増やしていくことは将来的な自立につながると考えています。成長を目指しての支援ですが、波がありますし退化することもあるのが人間です。緩くつながりながら支援の方向性を常に共有しながらスモールステップでの実践を大切にしたいと考えております。

【9】 身体を動かすこと、季節を感じること(散歩など)は平日は家庭では厳しく、全くできていません。放課後の短時間でも身体を動かすような取り組みをしていただき、とても助かっています。

<ゆりかごコメント>

普段は約20名の利用者を障害の程度や特性を考慮し「ホール」「りすの部屋」「くまの部屋」という3つの訓練室に分けて対応しています。天気の良い日には畜産センターへの散策や中庭での秋見つけやシャボン玉などを行うこともありますが、多くは行えません。

ホールに集まっての平均台やマット遊びは体幹トレーニングにもなり、多くの子に体験してもらうように心掛けています。

【10】 もう少し外出体験や長期休暇で何か楽しいイベントがあるといい。預かってもらっているだけになっている。

＜ゆりかごコメント＞

このように感じられるのは無理もないと受け止めております。

20名定員での運営が限界にあることは職員間でも共有しています。しかし、現状の職員配置と運営では安全確保面でのリスクが大きいと判断し積極的に活動を仕組めていません。

多くの事業所さんが10名定員での運営です。その方が給付金の単価が高く、少ない職員配置で済むため経営が安定するからです。また、事業所の中には通常学校のお子さんのみを受け入れるとか発語がない子やおむつ着用の小学生以上は受け入れを断るといった事業所さんもみえます。当事業所の利用者さんの中には他の事業所で受け入れを断られた方も複数みえます。運営母体は福富医院ですが、困ってみている方を応援し社会貢献をしていくという方針で運営されています。

【11】 いつも行き届いた支援に感謝しております。ありがとうございます。

＜ゆりかごコメント＞

このようなお言葉をいただき、励みになります。これからも、「全ては子どもたちの笑顔と自立のために」何ができるのか、何をなすべきなのかを考え続け日々の実践に向き合っていきます。

【12】 福富先生の系列の就労施設を教えてもらえる機会があるとうれしいです。個性を踏まえたいうでのアドバイスが欲しいと願っています。

日々の支援にはとても感謝しております。

＜ゆりかごコメント＞

学校教育の前後でハードルを感じられるケースは少なくありません。まずは小学校への就学が大きなハードルです。入学後ががんばり過ぎてしまうことでの不登校などの不適應も年々増えてきていますが、悩ましいハードルが特別支援学校高等部から就労につながる段階のハードルです。

18歳（高等部3年卒業時）になると、適用される法律が「児童福祉法」から「障害者総合支援法」に切り替わります。

小学校就学に向けては年中児からの情報共有と面談が大切だと考えています。また、この方のように就労に向けての動きは、中等部からの情報収集と相談支援専門員との面談がポイントになります。高等部2年生では就労先の候補を絞り込んでいく段階になります。相談支援専門員や児童発達支援管理責任者にはこの点を改めて意識するように指導していきます。

ご家族は日々お世話になっているのでという感情が働きやすく求めたりお願いしたりすることにブレーキをかけてしまわれやすい傾向があるように思われます。ご家族からも就労に向けた話題をしていただくことがお子様の納得したうえで就労につながっていきます。風通しの良い関係と面談の充実が心掛けていきたいと考えています。

岐阜県による用語の補足説明

- ※④ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ※⑤ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

「ゆりかご」からの補足説明

- ⑥ 交流事業（児童館等）は、行っていません。
- ⑩ 保護者会等は、現在は行っていません。
- ⑬ 今回のアンケート結果（自己評価）は、昨年度まで同様にホームページや掲示で公開していきます。
- ⑮ 人権擁護（虐待防止・身体的拘束）マニュアル、感染症対策マニュアル、危機管理マニュアル、防災計画等を整えています。令和5年5月に発作対応で救急要請をしましたが、保護者連絡、消防署通報、他の利用者の別室移動を7分間で終わりました。
- 気象警報発令対応や感染症対応についても、時系列で玄関掲示を行い、保護者との共有を進めています。
- ⑯ 今年度も昨年度も避難訓練を実施し、消防署・岐阜市都市防災政策課に報告しました。緊急対応時の職員の動きについての訓練・研修に力を入れた内容となっています。

